HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	明治三三年
Citation	北大百年史, 史料(二), 517-533
Issue Date	1981-07-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/30078
Type	departmental bulletin paper
File Information	siryo2_p517-533.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

明治三三年

九二六　助教授高岡熊雄時任一彦海外留学に付申入

札農秘第六号

海外留学生ニ関スル件

本校助教授高岡熊雄時任一彦ノ両名ヲ海外留学生トシテ派遣ノ義客歳一月廿三日札農秘第五号及札農秘第六号ヲ以テ本省大臣ヘ具状致置候処追々本校授業上ニ於テ学芸練達ノ教官ヲ挙クル必要ニ差迫リ殊ニ高岡助教授ノ如キハ目下米国滞在中ナル前教授新渡戸稲造病気退官欠員差支居候ニ付将来ノ教官トシテ益海外ニ派シテ修学セシムルノ必要有之候条本年度ニ於テ是非トモ上申之通右両人ニ海外留学被命候様可然御詮議相成度特ニ此段申進候也

明治三十三年二月八日　　校長

文部省専門学務局長宛

〔農七四二〕

九二七　農芸科改正等に付助教授及び書記定員増加の儀上申

札農秘第一三号

本校助教授及書記定員改正ノ義上申

本校農芸科ノ学科課程改正学年ノ延長ノ結果ニ依リ化学実習及数学担当ノ助教授三人及農場事業ノ進歩ニ伴ヒ事務繁劇ヲ加フルニ依リ書記二人増員ノ必要アルヲ以テ既ニ三十三年度ニ於テ助教授月俸平均一人参拾五円及書記平均一人弐拾弐円ノ予算ヲ立テ要求シタル処今回予算成立相成候ニ就テハ来ル四月一日ヨリ該予算内ヲ以テ右学科担当ノ助教授三人及事務担当ノ書記二人増員致度候条定員改正ノ御詮議相成候様致度此段謹テ上申候也

明治三十三年三月一日　　校長

文部大臣宛

〔農六八一〕

九二八　農事部長植物園長及び博物館長加俸に関する上申

札農秘第一二号

本校教授加俸ニ関スル上申

本校農事部長、植物園長、博物館長ハ従来本校教授ノ内ヲシテ担当授業ノ余暇ヲ以テ其事務ヲ分掌セシメ来リ候処追々校務拡張ニ伴ヒ該事務上ニ著シク繁劇ヲ加ヘ候ニ付其勤労ニ対シ年俸加給ノ必要アルヲ以テ既ニ三十三年度ニ於テ本俸加給額一人平均百五拾円トシテ予算ヲ立テ要求シタル処今回予算成立相成候就テハ来ル四月一日ヨリ実施致度候間文部省直轄諸学校官制中ヘ札幌農学校農事部長、植物園長、博物館長ヲ加ヘラレ尚ホ文部省直轄諸学校高等官々等俸給令中ヘ札幌農学校教授ニシテ農事部長、植物園長、博物館長ニ補セ

ラレタル者ニハ本俸百五拾円以内ヲ加給スルコトヲ得ル旨夫々追加ノ御詮議相成候様致度此段謹テ上申候也

明治三十三年三月一日　　校長

文部大臣宛

〔農六八一〕

九二九　農芸科生徒農場実習規程施行の件

達第一号

教務部
農事部
舎監部
庶務課
会計課

農芸科生徒農場実習規程左ノ通定メ本年四月一日ヨリ施行ス

明治三十三年三月十二日

札幌農学校長農学博士佐藤昌介印

農芸科生徒農場実習規程

第一条　第一年生ハ共同田畑、果樹園、普通作物標本園ニ於テ受持教官ノ指揮ニ従ヒ実習スルモノトス

第二条　第二年生ハ組合田畑、共同畑、果樹園及特用作物標本園ニ於テ受持教官ノ指揮ニ従ヒ実習スルモノトス

第三条　第一年生及第二年生ハ実習ノ都度各自栽培日誌ヲ作リ前一週間分取纏メ月曜日毎ニ受持教官ヘ差出検閲ヲ受クヘシ

第四条　第三年生ハ果樹園及農用器械使用実習ノ外単独若クハ二人一組ニテ栽培上ノ問題三個以内ニ付小作実習ヲ為スヘシ

第五条　第三年生ハ栽培上ノ問題田畑ニ対シ各二個以上ヲ選定シ受持教官ニ差出スヘシ

受持教官ニ於テハ農芸科主任ト協議ノ上之ヲ許否スルモノトス

第六条　第三年生ハ許可ヲ得タル問題ニ対シ栽培上ノ方法ヲ立案シ受持教官ヲ経テ農芸科主任ニ差出スヘシ

第七条　第三年生一名ニ対シテハ畑六十坪田十五坪以上農具其他必要ノ物品ヲ貸付種子肥料等ヲ附与ス

第八条　第三年生ハ日日栽培ノ方法労働時間ト其賃銭ヲ記シ前一週間分取纏メ月曜日ニ受持教官ニ差出検閲ヲ受クヘシ

但病気其他事故等ノ為メ他人ノ補助ヲ受ケタルトキモ本文ニ準ス

第九条　第三年生作物ヲ収穫セントスルトキハ予メ受持教官ニ通告シ検査ヲ受クヘシ

第十条　第三年生ハ作物収穫後二週間以内ニ収支ノ計算ヲ明ニシ作

物栽培等ノ実況ヲ詳記シタル報告書ヲ作リ受持教官ニ差出スヘシ
受持教官ニ於テ前項ノ報告書ヲ受ケタルトキハ作物栽培上ノ実況ヲ審按シテ成績点ヲ附シ報告書ト共ニ之ヲ農芸科主任ニ提出スヘシ
第十一条　第三年生ハ農場管理上ノ業務練習ノ為メ一週交代一名ツヽ当直ヲ為スヘシ
第十二条　第三年生ハ小作地管理上ニ対シ意見アルトキハ其旨詳記シテ之ヲ受持教官ニ差出スヘシ

〔農七〇一〕

九三〇　農事部長植物園長及び博物館長設置の件

（勅令第八四号）

朕文部省直轄諸学校官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十三年三月二十九日

内閣総理大臣侯爵山県有朋
文部大臣伯爵樺山資紀

勅令第八十四号（官報三月三十日）

文部省直轄諸学校官制中左ノ通改正ス

第一条中第五高等学校ノ下ニ「第六高等学校」ヲ加フ

第十八条ノ次ニ左ノ一条ヲ加フ

第十八条ノ二　札幌農学校ニ農事部長、植物園長及博物館長ヲ置キ同校教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

附　則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔法令全書〕

九三一　農事部長等加俸の件（勅令第八五号）

朕文部省直轄諸学校高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十三年三月二十九日

内閣総理大臣侯爵山県有朋
文部大臣伯爵樺山資紀

勅令第八十五号（官報三月三十日）

文部省直轄諸学校高等官官等俸給令第七条ノ次ニ左ノ一条ヲ加フ

第八条　札幌農学校教官ニシテ同校農事部長、植物園長又ハ博物館長ニ命セラレタル者ニハ年俸百五十円以内ヲ加給スルコトヲ得

附　則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔法令全書〕

九三二　助教授及び書記定員改正の件（勅令第八六号）

朕明治二十六年勅令第八十七号中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十三年三月二十九日

内閣総理大臣侯爵山県有朋
文部大臣伯爵樺山資紀

勅令第八十六号（官報三月三十日）

明治二十六年勅令第八十七号第一条中左ノ通改正ス

〔中略〕

札幌農学校ノ部

助教授ノ下「十五人」ヲ「十八人」ニ書記ノ下「六人」ヲ「八人」ニ改ム

〔中略〕

附　則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔法令全書〕

九三三　農事部長植物園長及び博物館長任命方の件稟申

札農秘第二一号

農事部長、植物園長及博物館長任命方ノ件稟申

〔朱書〕「年俸加給額百五拾円」　札幌農学校教授農学博士　南鷹次郎
〔朱書〕「年俸加給額百五拾円」　札幌農学校教授理学博士　宮部金吾
〔朱書〕「年俸加給額百五拾円」　札幌農学校教授　原十太

右ハ校務ノ都合有之候条頭書ノ年俸加給額ヲ以テ南教授ニ札幌農学校農事部長、宮部教授ニ植物園長、原教授ニ博物館長ヲ命セラレ候様致度此段謹テ稟申候也

明治三十三年四月四日

校長

文部大臣宛

〔農六八一〕

九三四　就職に関し卒業生紹介の件

拝啓益御清適奉賀候陳ハ予テ進呈致置候本校一覧ニ依リ略ホ御承知之事トハ存候ヘ共本校之義ハ文部省直轄学校ニシテ農理農芸及拓殖ニ関スル高等教育ヲ授クル為メニ本科ヲ設ケ中学校卒業生ヲ先ツ其予修科ニ入学セシメ同科二箇年ノ課程ヲ畢ヘタル者ヲ更ニ本科ニ進級セシメ本科四箇年ノ課程ヲ修メ卒業シ其卒業シタル者ハ農学士ト称スルコトヲ得ル規定ニシテ既ニ明治九年本校創立以来卒業シタル農学士ハ二百三十五人ノ多数ニ達シ候処本年七月又廿九人卒業ノ予定ニ有之就テハ御庁ニ於テ農学校農事試験場又ハ農事巡回教師其他農事関係ノ職務上ニ御採用ノ途有之候ハヽ紹介致度候条御必要ノ場

合ハ小官迄其取ルベキ職務ト待遇ヲ御申越被下候ヘハ適任者ヲ推薦可致候右御紹介旁得貴意候敬具

明治三十三年五月一日　　校長

各府県知事宛親展

二按

拝啓益御清適奉賀候陳ハ本校之義ハ文部省直轄学校ニシテ土木ニ関スル中等教育ヲ授クル為メニ明治三十年農学本科ノ外土木工学科ヲ設ケ中学校三学年修了シタル者若クハ之ト同等ノ学力アル者ヲ入学セシメ同科三箇年ノ課程ヲ修メ卒業スル規定ニシテ本年七月第一期卒業スヘキ生徒ハ十四人ノ予定ニ有之就テハ貴社ニ於テ採用ノ途有之候ハヽ紹介致度候条御必要ノ場合ハ小官迄其取ルヘキ職務ヲ御申越被下候ヘハ適任者ヲ推薦可致候右御紹介旁得貴意候敬具

明治三十三年五月一日　　校長

各鉄道会社長宛親展

追伸御参考之為メ別冊[注]校則一部及御送付候也

〔注〕別冊を欠く。

〔農六八一〕

九三五　土木工学科卒業生採用の件に付回答

札農第一六八号

土木工学科卒業生採用ノ件ニ付回答

本年五月中本校土木工学科卒業生御紹介致置候処今般弐名御採用ニ就テハ人選等ノ件子庶第七七〇号ノ三ヲ以テ御依頼之趣了承畑生徳郎及星野四郎ハ適当ノ者ト思慮致候ニ付推薦候条御採用相成候様致度別紙[注]成績表及履歴書相添此段及御回答候也

三十三年七月十一日　　校長名

日本鉄道株式会社長

〔注〕別紙を略す。

付　土木工学科卒業生の紹介依頼

子庶第七七〇号ノ三

拝啓先般御照会有之候貴校土木工学生今年卒業者ノ内ヨリ当会社ニ於テ弐名採用致度給料ノ儀ハ過日御回答ノ趣モ有之候得共初任ノ場合先以テ月給金弐拾五円給与ノ事ニ致度候間右ニテ可然御人撰其氏名幷ニ試験成績等御通知被下度御依頼仕候也

日本鉄道株式会社社長曾我祐準㊞

明治卅三年七月三日　印（日本鉄道株式会社印）

札幌農学校長佐藤昌介殿

〔農六八一〕

九三六　校則改正追加の件認可

子実甲二五九号

札幌農学校

明治三十三年五月二十一日付札農第一二七号伺其校々則改正追加ノ件認可ス但シ第百九十四条中其定員ハ三十人ノ下ニ「以内」ノ二字ヲ加フヘシ

明治三十三年九月八日　　文部大臣伯爵樺山資紀印

付　校則改正追加の件稟申

札農一二七号

本校々則中改正追加ノ件稟申

当校本科ニ於ケル英文学、独乙語、森林学大意、水産学大意及細菌学ハ随意科トシテ授業致居候処一般ニ之ヲ課スルノ必要アルヲ以テ此際随意科ヲ廃シ正科ニ改メ度又本校学生ガ経済学農政学等研究上ハ勿論卒業後諸般ノ職務ニ従事シ農芸ノ学理ヲ実地応用経営スル為メニ法律志想ヲ養成スル必要ヲ認メ候ニ付本科第二年級ニ法学通論ヲ修得セシムルコトニ致度

本校森林科ニ学術奨励ノ為メ給費生ヲ設クル必要有之候間同科ニ給費生三十名ヲ置キ給費月額五円ツヽ給与スルコトニ致度

本年三月法律第三十三号ヲ以テ未成年者喫煙禁止法ノ命アルニ拠リ校則中第百二十三条ヲ削除致度

本校ニ於テ授業上ノ都合有之候ニ付予修科土木工学科及森林科学科課程中理由書朱書（注）ノ通変更致度

以上ノ理由ナルヲ以テ本校々則中左ノ通改正追加シ本年第一学期ヨリ実施致度候条御認可相成度別紙理由書ヲ添ヘ此段謹テ稟申候也

明治三十三年五月廿一日　　校長

文部大臣宛

第五条学科課程中第一年級英文学及独乙語ノ下（随意）ノ二字ヲ削リ第二年級「独乙語（随意）」ノ五字ヲ削リ「法学通論」ノ五字（ママ）ヲ加フ第三年級森林学大意、水産学大意及細菌学ノ下（随意）ノ二字ヲ削ル

第百二十三条ヲ削リ第百二十四条ヲ第百二十三条トシ以下第百九十四条迄順次繰上ク

第百三十条中「第百二十六条」ヲ「第百二十五条」ニ改ム

第百四十八条中「第百四十六条及第百四十七条」ヲ「第百四十五条及第百四十六条」ニ改ム

第百五十七条ノ学科課程中第一年級微積分大意ノ下「一一　二」ヲ「一一　三」ニ物理学ノ下「三　三　一」ヲ「四　四　一」ニ画法ノ下

「六 六 四」ヲ「六 五 四」ニ計ノ下「三〇 三一 三〇」ヲ「三一 三一 三一」ニ改メ第二年級微積分大意ノ下「四 三 一」ヲ「三 三 一」ニ応用重学ノ下「五 五 五」ヲ「四 五 五」ニ測量術ノ下「四 三 二」ヲ「四 四 二」ニ同実習ノ下「六 一 六」ヲ「九 一 九」ニ道路ノ下「一 三 三」ヲ「一 三 二」ニ計ノ下「三〇 三一 三〇」ヲ「三三 三一 三一」ニ改メ第三年級橋梁ノ下「四 三 一」ヲ「三 三 一」ニ農業工学ノ下「三 三 三」ヲ「二 二 一」ニ器械工学ノ下「一 三 四」ヲ「一 三 三」ニ衛生工学ノ下「一 三 四」ヲ「一 四 四」ニ土木ニ関スル法令ノ下「一 四 四」ヲ「一 三 三」ニ工事設計実習ノ下「四 六 六」ヲ「九 九 九」ニ計ノ下「二八 二九 二九」ヲ「二九 三五 二七」ニ改ム

第百七十九条ノ学科課程中国語及漢文ノ行「五」ヲ「四」ニ英語ノ行「八」ヲ「六」ニ独乙語ノ行「一」ヲ「三」ニ改ム

第百八十九条ノ学科課程ヲ左ノ通改ム

学科及課程

	第一年級			第二年級		
	第一期	第二期	第三期			
代数	五	三	一	三	三	一
幾何	五	四	一	二	二	二
三角術	一	三	五	二	二	二
物理学及気象学	四	四	三	三	三	三
化学	三	三	三	二	二	二
地質学及土壌学	二	二	二	三	三	三
動物学	三	三	三	三	三	三
植物学	三	三	三	三	三	三
漢文	三	三	三	一	一	三
森林測量	一	一	三			
図画	二	二	二	二	二	二
森林測量実習	一	一	六			
造林学実習	一	一	三			
兵式体操	二	二	二			
計	三二	三二	三八			

経済学	二	二	二
現行森林法規	二	二	二
農学	三	三	三
森林測量実習	六	六	六
造林学実習	五	—	五
林産製造学実習	三	九	—
森林実習	不定	不定	不定
兵式体操	二	二	二
計	三八	三九	三一
第三年級			
造林学	三	三	—
森林利用学及林産製造学	二	二	—
森林経理学	三	三	—
財政学	三	三	—
林政学及森林管理論	三	三	—
農学	三	三	—
狩猟術	二	二	—
造林学実習	五	五	—
実地演習	不定	不定	不定
計	二四	二四	

第百九十四条ノ次ニ左ノ七条ヲ加ヘ第百九十五条ヲ第二百一条トシ以下順次繰下ク

第百九十四条　森林科ニ給費生ヲ置ク其定員ハ三十人〔朱書「以内」〕トス

第百九十五条　給費生ハ学力優等品行方正ナル者ヲ選抜シテ之ヲ命スルモノトス

第百九十六条　給費生ハ授業料ヲ免シ学資トシテ一箇月金五円ヲ給与スルモノトス

第百九十七条　給費生半途退学願出又ハ退学ヲ命セラレタルトキハ第五十二条ヲ適用ス

第百九十八条　給費生卒業後満五箇年間其身分進退ニ関シテハ校長ノ認可ヲ受クヘシ

第百九十九条　給費生及特待生ノ命解ハ第五十七条及第五十八条ニ拠リ処分ス

第二百条　給費生ハ第五十九条ニ拠リ契約書ヲ差出スヘシ

〔別紙〕

本科学課中改正必要ノ理由

第一年級

学科	第一学期	第二学期	第三学期	理由
英文学（随意）	三	三	三	（授業上不都合アルヲ以テ（随意）ヲ廃シ正課ニ改ムル必要アリ）
独乙語（随意）	三	三	三	〃

第二年級

独乙語（随意）	二	二	二
「法学通論」	「一」	「一」	「一」

独乙語ヲ廃スル理由ハ予修科第一年級ヨリ独乙語ヲ授クルコトニ改メタルヲ以テ本級ニ於テ必要ナキニ依ル

法学通論ヲ新設スル理由ハ農業ヲ実地ニ経営スル為メ拓殖ノ政務ニ当ル為メ又農業経済等ヲ研究スル為メ法律志ヲ養成スルノ必要アルニ依ル

第三年級

森林学大意（随意）	一	三	三
水産学大意（随意）	三	一	一
細菌学（随意）	三	一	一

前出ノ理由ニ依リ随意ヲ廃シテ正課ニ改ムル必要アリ

予修科学課中改正必要ノ理由

第一年級

「独乙語」	「二」	「二」	「二」

独乙語ハ予修科第二年級ニ始メ本科第二年級ニ規定ナリシト雖モ語学終了テ結合シ第一年級ニ於テハ総テ本科第二年級ニ上ルヲ以テ専門学科ノ如ク独乙語ヲ新ニ朱書キヲ要セサルニ依リ予修科第一年級ニ加フル必要アリ

英語	「八」	「八」	「八」
国語及漢文	「四」五	「四」五	「四」五

授業上差支ナキヲ以テ英語ニ於テ二時間国語及漢文ニ於テ一時間ヲ減ス

土木工学科学課変更ヲ要スル理由書

第一年級

学課	第一学期	第二学期	第三学期	理由
物理学	「4」三	「4」三	—	授業時間不足ニ付朱書ノ通リ改正ノ必要アリ
画法	六	「5」六	四	物理学ノ時間ヲ増シタルニ依リ画法第二学期一時間ヲ減スルモ授業上差支ナキ見込ナリ
微積分大意	—	—	「3」二	次学年ニ於テ時間ヲ以上一時間ヲ減スルヲ以テ当学年ニ於テ一時間ヲ増シテ之ヲ補フ必要アリ

第二年級

微積分大意	「3」四	三	—
応用重学	「4」五	五	五

理由前同断ナルニ依ル

之ヲ修ムルニ必要ナル数学未タ其半バニアアルヲ以テ第一学期ニ於テ一時間ヲ増シ他学科ノ時間ヲ減シテ之ヲ補フニ依ル

	第三年級			
測量術	四	四	四	三〔2〕
同実習	六〔9〕	—	六〔9〕	三〔2〕
道路	—	三	三〔2〕	—
橋梁	四〔3〕	三	—	—
農業工学	三〔2〕	三〔2〕	三〔1〕	—
器械工学	—	三	四〔3〕	—
衛生工学	—	三〔4〕	四	—
土木ニ関スル法令	—	四〔3〕	四〔3〕	—
工事設計及実習	四〔9〕	六〔9〕	六〔9〕	—

測量術	実習時間ヲ増ス為メニ第三学期ノ三時間ヲ二時間ニ改メ授業上差支ナキニ依ル
同実習	実習ノ時間不足ナルヲ以テ朱書ノ通リ改ムル必要アリ
道路	実習時間ヲ増ス為メニ一時間ヲ減シテ授業ニ差支ナキ見込ナリ
橋梁	設計時間ヲ増ス為メニ第一学期ニ於テ一時間ヲ減シ授業上差支ナキ見込ナリ
農業工学	理由同前断ナルヲ以テ朱書ノ通リ改正シテ授業ニ差支ナキ見込ナリ
器械工学	設計実習時間ヲ増ス為メニ第三学期一時間ヲ減シテ授業ニ差支ナキ見込ナリ
衛生工学	時間不足ニ付第二学期一時間ヲ増ス必要アリ
土木ニ関スル法令	理由同上ナルニ依リ朱書ノ通リ改正シテ授業ニ差支ナキ見込ナリ
工事設計及実習	時間不足ニ付朱書ノ通リ改正ヲ要ス

森林科

第一年級

学課	第一学期	第二学期	第三学期	理由
物理「学及」気象学	3〔4〕	3〔4〕	4〔3〕	第一、二学期ニ於テ物理学ヲ終リ第三学期ニ於テ気象学ヲ授ク規定ナルカ物理ニ時間不足シ気象ヲ以テ朱書ノ如ク改ムル必要アリ

第二年級

造林学	3〔2〕	3〔2〕	3〔2〕	本道ニ於ケル造林ニ要スル樹種ハ内地ニ比シ甚タ小数ナルヲ以テ比較的小ナル時間ニテ足ルヘキ予定ナルニ依リ二時間ニ減ス授業上差支ナキ見込ナリ
森林利用学「及」林産製造学	— 3	— 3	3 —	元来後者ハ前者中ニ含マルヘキ性質ノ者ナレハ当科ノ如キ教員ノ少ナキ場合之ヲ合併シ置クヲ便宜トス
林政学「及」森林管理「論」	— 2	— 2	2 —	前同様ノ理由ナルニ依リ便宜上合併スル必要アリ
経理学	—	—	3〔2〕	実際ニ於テ経理ノ時間多キニ過ルト嫌ヒアルヲ以テ一時間ヲ減スルモ授業上ニ於テ差支ナキ見込ナリ

「現行森林法規」 森林法及法律大意	2	2	2	法理ヨリモ現行法ヲ修了スルハ卒業後実際事ニ当リテ利益アルヲ以テ朱書ノ如ク改ムル必要アリ
「実地演習」	「不定」	「不定」	「不定」	実習ノ最モ必要ナルモノナレハ各期休日ヲ利用シ実習ヲナサシムル為メ新ニ加フル必要アリ
農学大意 〃	「3」 2	「3」 2	「3」 —	本道ノ林業ニ当ルモノハ農学ノ志想ヲ要スルコト多シ例セハ開墾ニ関スルコト林内放牧ニ関スルコト等ノ如シ故ニ特ニ農学ノ時間ヲ本学年及第三学年ニ増加スル必要アリ

以上第二学年ニ於テ第一二期ハ時間ノ増減ナク第三期ニ一時間ヲ加フ

第三年級

森林利用学及 林産製造「学」	「2」 3	「2」 3	—	林産製造ヲ合シテ時間ヲ省クコトヲ得ルヲ以テ之ヲ改ムル必要アリ
「林政学及森林管理論」 林政学	3	3		前学年ノ如シ
「農学」	「3」	「3」	「—」	理由前学年ノ如シ
森林経理学実習	五	五		之ハ実地演習ノ際ニ行フヲ得ルヲ以テ除クコトトセリ

第三学年ニ於テ第一及第二学期三時間宛ヲ減ス

〔注〕理由書中の朱書は「　」により示した。

〔農六三二〕

九三七　実験農場収支調送付の件

号外

岩波検査官へ提出スヘキ調書会計課長へ送付ノ件

一　自明治弐十八年度　〃　三十二年度　実験農場収支調

右及御送付候条御検閲ノ上山形屋止宿ノ岩波検査官へ御回送方御取計相成度候也

十月六日　　農事部長

新井会計課長殿

追テ本日中ニ提供スヘキ旨過日検査官来庁ノ時約束致置候間至急御回送方御取計被成度為念申添候也

自明治廿八年度至同三十一年度実験農場収支調

年度	面積	経費		収入		小作人ノ数	備考
		経常	臨時	経常	臨時		
第一農場 二十八年度	二七九、〇三六、二一〇坪	五、九六九、八二五		一、七九一、九四三		一	
二十九年度	〃	五、五一八、五四九	三〇七、七六〇	一、六一七、二三五		七	
三十年度	〃	六、二九三、〇〇一		二、一七〇、六一五		七	
三十一年度	〃	六、三五五、八三〇		一、五一八、五六〇		九	
三十二年度	〃	七、二四九、五七八		二、七三〇、一八七		四	
合計	〃	三一、二六六、七八四	三〇七、七六〇	九、八一八、五四〇			
第二農場 二十八年度	四九四、三五一、〇〇〇	三、三六六、二九二				七	
二十九年度	〃	五、三一二、四〇四	二、五八七、〇〇〇	八、二四二、五九一		七	
三十年度	〃	四、四九三、七七七		一〇、二七一、六九五		七	
三十一年度	〃	四、六一一、二七〇		一〇、一五七、二八三		七	
三十二年度	〃	五、一〇四、五〇三		一一、八四八、三六七		七	
合計	〃	三三、七九七、三三六	二、五八七、〇〇〇	四八、〇九六、三〇三			
第三農場 二十八年度	九五三、二四一、〇〇〇	四二三、五九〇				五六	
二十九年度	〃	五一四、九三三		六九九、一四六		六〇	
三十年度	〃	四九五、六〇五		四三二、三四		六〇	
三十一年度	〃	一三六、九四五	六一七、二六〇	八二五、〇五二		五六	

三十二年度	〃	四九、五〇二		一、五七四、七四六	五七	
合計	〃	二、〇六三、五六四	六一七、二八〇	四、八一、一〇九		
第四農場 二十八年度	一、九四二、八四二、〇〇〇	四八六、〇六六		四六、七六〇	三	經常部收入ノ内 三七一、七八八ハ普通林木払下代ナリ
二十九年度	〃	六五九、五二九		八五八、三一	三	經常收入ノ内 二三、四六八ハ普通払下林産收入ナリ
三十年度	〃	七三六、三八		三三〇、四三六	三八	經常收入ノ内 八四、六三八ハ普通林産收入ナリ
三十一年度	〃	四〇六、九三三		七七八、九五四	四八	經常收入ノ内ノ七七、四三八ハ普通林産收入ナリ
三十二年度	〃	五三、五五		一、三五二、六五九	五〇	經常部收入ノ内 七一〇、八〇六ハ普通払下タル林産收入ナリ
合計	〃	二、〇三一、五〇〇		三、六七、二一〇		
第五農場 二十八年度	一、五一〇、〇〇〇、〇〇〇	五二七、八五七		六〇、〇〇〇	一〇	收入ノ部 六〇、〇〇〇 林産收入
二十九年度	〃	二六九、五二〇		四七、二八〇	三七	收入ノ部 四七、二八〇ハ同上
三十年度	〃	一八三、一八七		——	四八	
三十一年度	〃	二六六、〇〇〇	八四九、一五〇	二四、九〇〇	五一	
三十二年度	〃	三一六、〇八七		九七、六四〇	五五	
合計	〃	一、五六二、六五一	八四九、一五〇	三九、八二〇		
第六農場 二十八年度	二、一四〇、二〇〇、〇〇〇	三七二、〇三五		七九〇、九四〇	三五	收入ノ部 七九〇、九四〇ハ林産收入ナリ
二十九年度	〃	二九四、六三八		三、九九	六三	收入ノ部 三、九七 林産收入ナリ
三十年度	〃	五五五、五五九		七三一、二一〇	七九	收入ノ部 七三一、二一〇 林産收入

場						
三十一年度	〃	四三五、二一〇	一、〇五五、三五五	――	九八	
三十二年度	〃	三〇二、四三八		三三六、三八九	二一〇	収入ノ内一四、九六八林産収入
合計	〃	一、九五九、七九〇	一、〇五五、三五五	一、八六二、四四八		
第七農場						
二十八年度	一七三、六二、五二〇			六九、六九一	八	
二十九年度	〃			六九、六九一	八	
三十年度	〃	六一、一〇〇		――	八	
三十一年度	〃	三六、〇〇〇		一三九、三八三	八	
三十二年度	〃	一四四、三一四		八三、六二七	八	
合計	〃	二四一、三一四		二九二、七〇〇		
第八農場						
二十八年度	――			――	三	収入部二、八〇〇ハ林産収入
二十九年度	一〇、一一〇、〇〇〇、〇〇〇	三四六、九五一		――		卅二年九月二十日百二十三万七百十五坪五合新ニ編入収入ノ部一、三九六、一一〇総テ林産収入ナリ
三十年度	〃	一、〇三三、九二一	二八六、〇〇〇	二、八〇〇		
三十一年度	〃	一、一〇三、九二三		一、三九六、一一〇	三	
合計	〃	二、四五四、八四五	二八六、〇〇〇	一、三九八、九一〇		
植物園						
二十八年度	三四、八〇二、七一〇	六四四、二七八		九五、三四五	一	
二十九年度	〃	七六八、一〇一		一三五、三八五	一	
三十年度	〃	七五〇、三一〇		一五四、〇八八	一	

三十一年度	〃	七七八、〇〇九		三一〇、六九八	一		
三十二年度	〃	九六六、六九一		三三六、九八〇	一		
合計	〃	三、九〇七、三八九		七四二、四九六			
総計	一八、八七八、八七一、八六〇	六九、〇五六、〇四三	五、七〇三、五五五	七〇、三〇九、四五六	四、〇一〇、〇〇〇		

備考 ○臨時歳出ノ欄廿九年度ニ於テ第一農場三〇七、七六〇、第二農場二、五八七、〇〇〇ハ家畜房修繕工事費ナリ又卅一年度ニ於テ第三農場六一七、二八〇、第五農場八四九、一五〇、第六農場一、〇五五、三六五、第八農場二八六、〇〇〇ハ農場水害復旧工事費ナリ

○臨時歳入ノ欄第四農場ニ於テ廿九年度二、七五〇、〇〇〇、三十二年度一、二六〇、〇〇〇ハ当該年度中ニ焼損セル林木ヲ払下タルモノニシテ其収入ハ同シク経常部ナレトモ予算外ノ収入ニシテ其性質臨時部ニ属スヘキモノト認メ特ニ臨時欄ニ記入ス

○経常歳入ノ欄ニ第四、第五、第六、第八農場ノ予算内ニ於ケル通常ノ林木払下代ハ臨時欄ニ分割セシ〔ママ〕テ下ノ備考欄ニ掲ケタリ

〔農八五七〕